| No. | 事業名(団体名) | 活動地域 | 事業内容 | 令和6年度の活動状況 | 活動の様子 | SDGsの目標 |
|-----|--|-----------------------|--|--|--------|--|
| 1 | 【遊び場 なごみ】 (【遊び場 なごみ】) | 二俣川INT 地区 | 地域の公園を使用して、初心者向けグランドゴルフやスクエアステップなどの身体を動かす企画を定期的に実施することで、誰もが気軽に集える居場所をつくり、住民同士の声掛けや支え合いの関係づくりを行う。 | ○グランドゴルフ(毎週火曜):4コースを3~4人のグループに分け、プレーする。ホールインワン達成者には、ブチご褒美あり ○スクエアステップ(第1/2/3金曜):マット上に縦に並び、簡単なステップから始めて、ワルツのテンポで手を叩く難題に取り組んでいる。町内会からの助成でマットを購入。 ○町内会の活動として組み入れて頂くことが目標 | | 3 sales 10 4000 17 august 17 august 17 august 18 € |
| 2 | 元気会 (元気会) | 笹野 台 地区 | 自治会館を会場に、定期的におしゃべり会 や体操などの企画を実施することで、地域 の高齢者が気軽に立ち寄れる居場所づくり を行う。 | | 【活動終了】 | 3 6000000 17 0001000000 |
| 3 | 森のまなびや (森のまなびや) | 旭区全域 | 不登校の子供たちの学校以外の学びの場、 多様な過ごし方ができる居場所づくりを目 的として、料理やクラフト等の野外体験学習 の機会を設ける。 | 『生きる』をテーマに、親子の『体験・対話』イベントを企画運営。親と子のつながりや、他者とのつながりの中で大人も子どもも育ちあう場となっている。 オンラインコミュニティVillageとリアルで会える場の展開。教育機関・行政・地域より『草木染め×SDGs』『感性啓く自然体験』「文化×芸術体験』等 ご要望に合わせ出張している。コンテンツは大きく分けると『あそぶ・つくる・たべる・まなぶ』を体験としてお届け! | | 3 FERRAL 4 SALES 17 CHEERLY -WAS SEED ST. |
| 4 | コミュニティカフェ「しおん カフェ」 (コミュニティカフェ「しお んカフェ」) | 二俣川INT 地区 | 自宅のリビングや庭を開放し、地域住民が ふらっと立ち寄り話ができる空間をつくる ことで、住民同士の交流が深まり、助け合え る関係づくりを行う。 | 引き続き、毎月4回、自宅でコミュニティカフェを開催。 毎回20名ほど参加があり、常連の方の定着に加え、新規 参加者も来てくださっている。新たな取組みとして、地元 野菜の提供や、コミュニティコンサートを開催。地元野菜 は大変好評をいただいている。 | | 3 ACCEPTED 17 CANADAS A |
| 5 | 多世代交流拠点「白根みらい食堂」 (白根みらい食堂) | 白根地区 | 地域食堂を開き、単に食事の提供をするだけでなく、昔遊びやボードゲームなどを用意し、子供から高齢者まで地域のあらゆる世代のつながりづくり及び居場所づくりを行う。 | 毎月1回第4日曜日に開催。12月には、鶴ヶ峰中学校の PTAと連携し、ボッチャ大会を行った。今後も活動の場 を広げていく予定。 | | 1 ************************************ |
| 6 | スマートフォン教室 (わらび(笑日)) | 旭区全域 | 暮らしやすさや楽しみにつながる、スマートフォンの使い方を覚えて、孤立せずに地域参加できるシニア層を一人でも多く増やすことを目指し、スマートフォンの出張教室を実施する。 | スマホ部は、出張教室(個人)を6回、白根福寿荘3回、希望カフェ9回、オンライン4回行った。音楽部は、旭区地域カフェと施設で月1、2回ベースでの依頼コンサート、歌声サロン3回(福寿荘)、西区の依頼コンサートを2回行った。 | | 4 ****** 8 ***** |

| 7 | ひかりが丘 趣味の広場 (ひかりが丘 趣味の広場) | 上白根地区 | 団地の集会所を会場に、健康麻雀や住民の 趣味を披露する企画などの実施を通して、 地域の高齢者が気軽に集まり、交流できる 場づくりを行う。 | 引き続き、団地の集会所を会場に、健康麻雀を中心とした地域の高齢者が気軽にあつまれる「趣味の広場」を開催。 | | 5 ******* 11 ************************** |
|---|--|-------|---|--|--|---|
| 8 | ひかりが丘 多世代ふれあ いスポット(ひかりが丘 多 世代ふれあいスポット) | 上白根地区 | 団地の集会所を会場に、ダーツなどのゲームを楽しむ企画の実施を通して、気軽に住民が集まることができ、地域の多世代が交流できる場づくりを行う。 | 引き続き、団地の集会所を会場に、ダーツやゲーム機器 を開放し、日中は高齢者等、放課後や土・日・祝日は子ど もたちを中心に集まっており、多世代交流も図られてい る。 | | 5 : 11 : 11 : 10 : 17 : 17 : 17 : 17 : 17 |